

## 改訂の序

本書の初版が刊行されたのは2006年であり、この間5年余りの歳月が経過しました。幸い本書は好評を博し、多くの読者を得ることができました。

臨床研修が必修化され定着期を迎えましたが、短期間の研修を効率的に行うためには、適切な指導者、プログラム、研修場所に加え、適切なテキストの存在も重要であることは変わりません。この「正常画像と並べてわかる」シリーズは症例集とアトラスの要素を兼ね、ポケットサイズでわかりやすいことを念頭において編集されています。その中でも、本書は救急現場でよくみる疾患・外傷などの経時的変化に着目し、Dynamicに変化する患者さんの状態を画像により追（疑似）体験することができます。

本改訂版ではよりふさわしい、またはよい画像への入れ替えに加え、必要に応じて新たな項目の追加も行っています。研修医の先生だけでなく、これから研修を行うという医学生、また、研修を終了した若手の先生にもきっと役立つものと期待しています。

最後に、救急医療の最前線の臨床の傍ら本書の編集、執筆に当たられた先生、ならびに作業の遅れを

叱咤，激励していただいた編集部伊藤慶子氏，嶋田達哉氏をはじめ羊土社の方々に御礼を申し上げます。

2012年3月

さいたま赤十字病院 救命救急センター  
清田和也